

幹事会議事録

日 時 昭和 63 年 12 月 28 日 20 時～24 時
場 所 KKR 札幌（札幌市）
出 席 会長 下鶴
幹事 岡田, 井田*, 久保寺*, 加茂*, 岡村*, 尾田*, 津村*
委員 勝井, 山川* （*は電話による出席）
事務局 森*, 小宮, 岸尾*, 山本*

下鶴会長は、昭和 63 年 12 月 26 日から北海道において現地調査及び打合せを行った。26 日は札幌管区気象台との打合せ会、同日夜には勝井委員、岡田委員との打合せ会、27 日には空中及び地上からの十勝岳の調査、28 日は北海道大学有珠火山観測所において資料の検討及び岡田委員との打合せ等を行った。

これらの調査及び打合せ会の結果を踏まえ、28 日 20 時より札幌において幹事が開催され、これまでの十勝岳の火山活動を総括的に整理し、現況及び今後の見通し等について検討が行われた。その結果、下記の会長コメントを発表することになった。

なお、会長コメントは 29 日 10 時 40 分に札幌管区気象台において報道機関に発表され、下鶴会長、勝井委員、岡田委員、管区気象台が説明を行い、また、旭川地方気象台から火山情報により発表された。

十勝岳の火山活動に関する火山噴火予知連絡会会長コメント（前頁参照）

平成元年 2 月 10 日

火山噴火予知連絡会事務局

活火山検討ワーキンググループについて

昭和 63 年 10 月 28 日に開催された火山噴火予知連絡会において、活火山について検討するためワーキンググループを設置することとされた。これに基づき下記の委員に検討を依頼することとなった。

記

下 鶴 大 輔	火山噴火予知連絡会会長
藤 井 義 雄	北海道大学理学部教授
荒 牧 重 雄	東京大学地震研究所教授
小 野 晃 司	通産省工業技術院地質調査所環境地質部長
岩 渕 義 郎	海上保安庁水路部企画課長
津 村 建四郎	気象庁地震火山部地震火山業務堪長